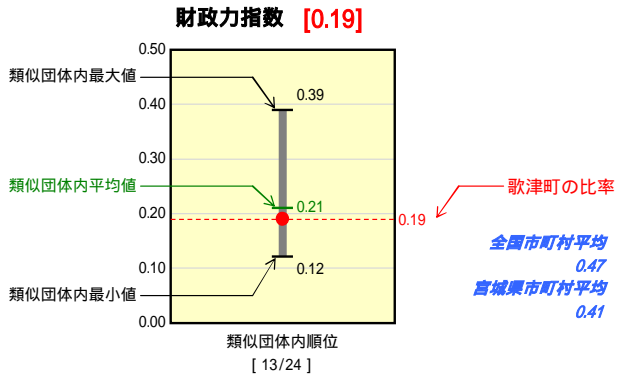


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

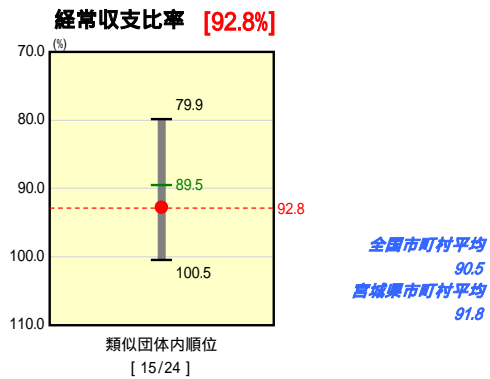
宮城県 歌津町

人口	5,567 人(H17.3.31現在)
面積	39.48 km ²
歳入総額	2,868,763 千円
歳出総額	2,824,193 千円
実質収支	44,570 千円

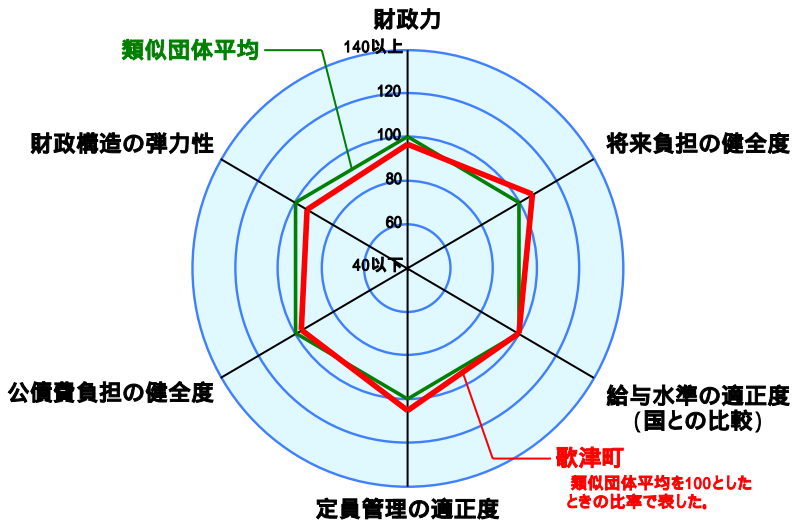
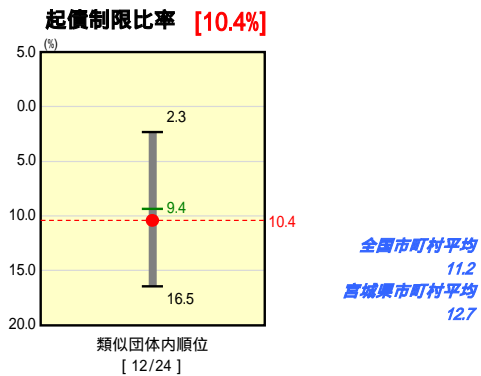
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度

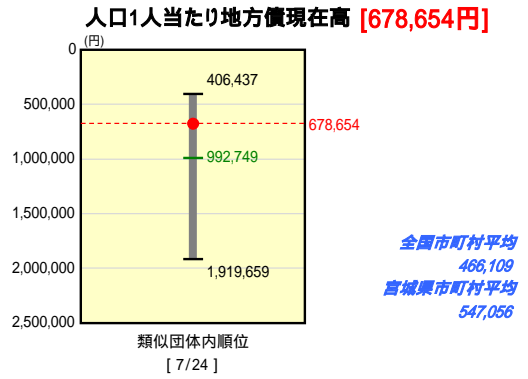


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

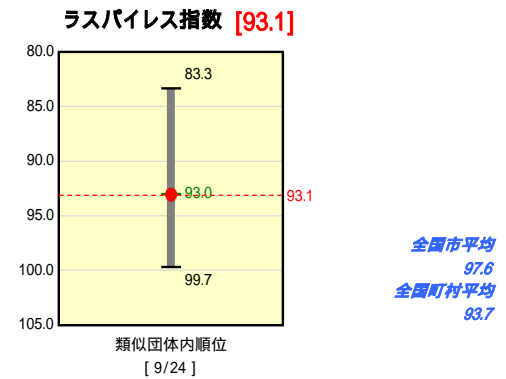
分析欄

- 財政力指数**
・長引く景気低迷によって税収等が伸び悩み類似団体平均を下回った。今後も、本町の経済基盤からして急速な景気回復は望めない事から、滞納解消をはじめとする町税等の徴収対策をより強化していくものとする。
- 経常収支比率**
・税収が伸び悩んだことや三位一体改革で地方交付税、臨時財政対策債が大幅に減額されたことにより、類似団体平均を上回った。これまで間断な(財政の健全化に努めてきたが、今後においても聖域を設けない行政改革を進め、なお一層財政の健全化を図っていかねばならない。
- 起債制限比率**
・新規発行を抑制したことにより一定の成果は現れたのだが、類似団体平均を1.0%上回った。すでに返済のピークは過ぎたものの、新町建設計画の推進により合併特例債等の借入が増えることが予想されることから、計画性を持って発行を抑制するなどの対策を講じ、後年度にツケが回らないよう、意を用いていくこととする。
- ラスパイレース指数**
・地方分権型社会の到来に当たっては、職員給与の適正化が必要不可欠である。よって、今後とも適宜見直しをかけるなどし、より適正な給与体系の構築に努めるものとする。
- 人口1人当たり地方債現在高**
・今後、新町建設計画の推進にあたって、多額の地方債の発行が予想されることから、これらが将来の財政負担とならないようをもって借入を実行し、地方債残高が累積しないような対策を講じていくこととする。
- 人口1,000人当たり職員数**
・これからの行政運営にあたっては、より合理的かつ簡素な行政システムの構築が求められる。したがって、早急に行政改革及び定員適正化計画を推進し、定員管理の適正化を図っていくこととする。
- 平成17年10月1日 志津川町と歌津町が合併して南三陸町が誕生した-----

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

